

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2020年度)

専門分野区分	データベース	科目名	SQLⅡ			科目コード	T1320B2			
配当期	前期・ 後期 ・集中	授業実施形態	通常 ・集中			単位数	2単位			
担当教員名	辻本佳紀	履修グループ	2G(GP/SP)			授業方法	演習			
実務経験の内容	某銀行にて、システム開発および運用業務を3年間行った。その経験を活かし、データベース言語であるSQLの文法について、実習を交えながら講義する。									
学習一般目標	IT市場においてはシステム構築、運用、管理において管理性、拡張性、コスト効率がより求められ、その需要に対応するのが「Oracle Database 12c」です。3つの特徴である、リソースの有効活用、自動管理機能による管理・運用の効率化、柔軟性と拡張性を備えた総合管理ツールである同製品の技術者を育成し、客観的な指標として信頼されているOracle Masterの新資格「Bronze」を取得する									
授業の概要および学習上の助言	「Oracle Master Bronze Oracle Database 12c」資格試験の2科目中の1科目目「Bronze SQL基礎」試験に対応した科目です。複数の表の結合や副問い合わせ、データ操作、オブジェクトの作成および管理について学びます。各章ごとにある実習問題を通してSQL文を習得してください。									
教科書および参考書	ORACLE MASTER Oracle Database 12c Bronze 12c SQL基礎 (ソフト/シンククリエイティブ)									
履修に必要な予備知識や技能										
使用機器	パソコン機器									
使用ソフト	Oracle									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標								
	1	データベースの基本的な概念を理解し、説明できる								
	1・2	SQL文を使用したデータベースの操作ができる								
	5	講義と実習に意欲をもって取り込むことができる								
達成度評価	評価方法	試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	総合評価割合	60			30			10	100	
	学部DP	1.知識・理解	30			30				60
		2.思考・判断	30							30
		3.態度								
		4.技能・表現								
5.関心・意欲							10	10		

	評価方法	評価の実施方法と注意点
評価の要点	試験	定期試験期間中にペーパー試験を実施します。(持ち込み有り) SQLの穴埋め、SQL文の実行結果などを問う 60点
	クイズ 小テスト	
	レポート	
	成果発表 (口頭・実技)	各章ごとに実習を出題します。 30点 (オプション問題はプラスα加点をします)
	作品	
	ポートフォリオ	
	その他	出席回数、態度など総合的に判断します。 10点

授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週 /	7章 複数の表からのデータの表示 等価結合、非等価結合	講義・実習	実習1
第2週 /	7章 複数の表からのデータの表示 自己結合、3表の結合	講義・実習	実習1
第3週 /	7章 複数の表からのデータの表示 外部結合	講義・実習	実習1
第4週 /	8章 副問い合わせを使用した問い合わせの解決 単一行副問合せ	講義・実習	実習1
第5週 /	8章 副問い合わせを使用した問い合わせの解決 グループ関数の使用	講義・実習	実習1
第6週 /	8章 副問い合わせを使用した問い合わせの解決 HAVING 句での副問合せ	講義・実習	実習2
第7週 /	8章 副問い合わせを使用した問い合わせの解決 複数行副問合せ	講義・実習	実習2
第8週 /	9章 集合演算子の使用方法	講義・実習	実習2
第9週 /	10章 データの操作 DML 文	講義・実習	実習3
第10週 /	10章 データの操作 トランザクション	講義・実習	実習4
第11週 /	データ操作 実習4 演習	講義・実習	実習4
第12週 /	11章 DDL 文を使用した表の作成と管理 表の作成、デフォルト、表の削除	講義・実習	実習5
第13週 /	11章 DDL 文を使用した表の作成と管理 制約概要	講義・実習	実習5
第14週 /	11章 DDL 文を使用した表の作成と管理 制約構文	講義・実習	実習5
第15週 /	DDL 文を使用した表の作成と管理 実習5 演習	講義・実習	実習5